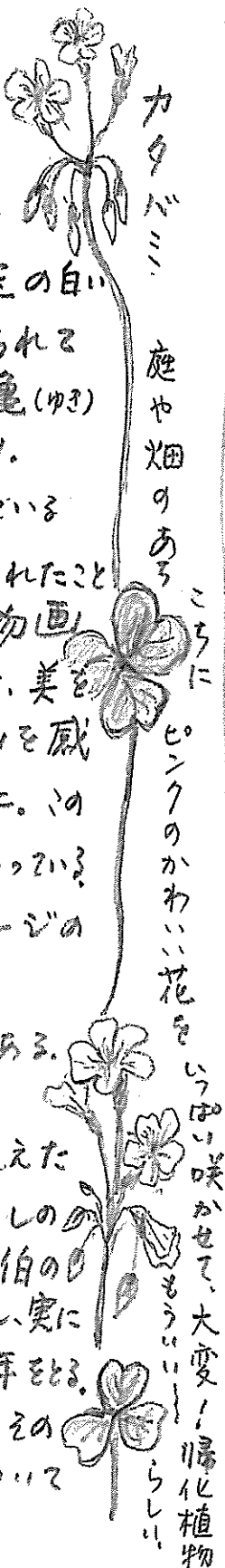


7月、猛暑、危険な暑さ、熱中症警戒アラート、全国とんでもない暑さが続く、攻激も続く、山陰、東北地方の大雨、今後全国あつち大雨の予報、そしてソ連のウクライナ

読書ノート

● 小倉遊亀 天地の恵みを生きた 百四歳の介護日誌 小倉寛子著 文化出版局

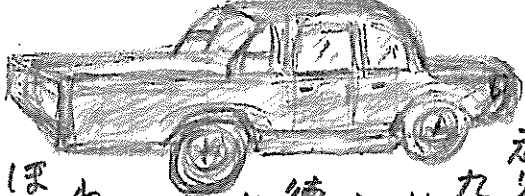
私のかかりつけのクリニックは、待合室の白い壁にス〜3点の絵が時々掛け替えられてたのしい。その日は私の好きな小倉遊亀(ゆづ)の果物の絵と畦地梅太郎の版画。昔、遊亀の作品を沢山收藏している滋賀県立近代美術館へひとり訪れたことがある。身近にある花や果物、人物画など、どの絵も画家自身の品格、美を求める姿勢、重ねてきた人生の深みを感じて、全身満たされた思いがした。このとき買った絵はかき「佳器」をいま飾っている。本棚のこの本を思い出した。カラーページの最初は花びんに活けた花々「春花」。104歳で春の院展出品作(1999年)とある。百一歳、百三歳の作品も。これらの作品は、偉大な画家の長寿を支えたご家族あつてのこと。著者は遊亀の孫、暮しの手帖社で編集に携わっていた。高齢画伯の健康と画業を支えるキーパーソンを自覚し、実行し届いた介護を続ける。誰もか一年ほど助けを借りて終わりの時を迎える。そのときまでどのように生きていくか、前を向いて深呼吸。



コーヒーぜんざい かんたん、なつかしい味。

テレビで4ウツと見て、えっ初めて聞くことば。ネットでレシピを見るとたくさんありこれを作りました。暑い夏やさしい口味！
 (4人) アイスコーヒー2カップ (冷やしておく)
 白玉粉 70g ホウロウに入れ水170ml
アイスコーヒー を少しずつ加えて粘り、12コに丸め、沸騰した湯に入れ、浮いたらさらに1分ゆいで冷水にとる。 165g ゆであずき缶詰
 器に ゆであずき160g を合けて入れ、よく冷やしたコーヒーを注ぎ、さつとませ。白玉、だんごをのせる。あん、白玉のまろやかな味ー コーヒー 名産屋では定番メニューらしい

ありがとうございます！ ヒロックアツポトウツワ
 わがやの車、赤いトウツワ。
 30年も共に暮したか 7月4日
 さよならをした。

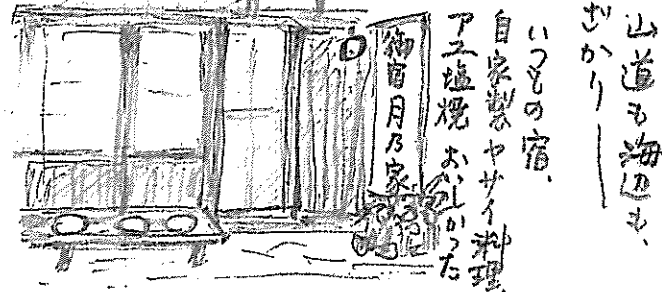


四国の山々、川、海辺を走り、山陰、山陽地方九州へも。
 美術館、寅元、神社、さぬきうどんめぐり...
 徳島の友人宅へほんとはよく行った。
 テントを畳ませて気ままな旅。
 わたしたちの人生の相棒、ほんとはありがとう。
 新し車、GRRRさん運転に気を付けます。

けやき通信 2024.7月 No.368

一錦織佳代子

6/29 30 松山登高会の夏の例会 毎年7月
 内子(うちこ)のいつもの宿で!!
 GORRさんはOB、私はそのつれ合いで昔から仲間入りです。職場のコロナで急お欠席などあって、9人。食ひながら飲みながら、みんな話か、尽きない。会って話すのはやっぱりたのしい!! 翌朝も続いた。



江戸時代から明治時代にかけて木蟬(和らそく)、和紙などで栄えた内子の町。タイムスリップしたような古い町並み。大正5年に建てられた芝居小屋内子座は風格のある外観、廻り舞台や花道など歌舞伎劇場の設備も。ゆっくり歩きたいとこもいい町。大江健三郎の生まれ育った家も、少し山手の方に残っている。

内子まで車で2時間余り、山道も海辺も、町の中もマジサイの地ばかり、いつもの宿、自家製ヤサイ料理、アツ塩焼お餅、物産月乃家